

令和5年度 岩見沢市立北村小学校

学校(自己)評価報告書

令和6年3月

学校名	岩見沢市立北村小学校							
校長名	角銅 隆				教職員数		17	
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	合計
学級数	1	1		1	1	1	3	9
児童数	9	7	9	11	17	15	5	73
住 所	岩見沢市北村中央4725							
電 話	0126-56-2201							
FAX	0126-36-2103							
URL	https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/soshiki/kitamurashogakko/4298.html							
E-mail	kitamuras@edu.hamanasu.com							

I 学校教育目標

(1) 北村小中一貫教育目標

共に高め合い未来を創る力を育む学校の創造

(2) 北村小学校教育目標

- 【もとめる子】 ～「見通しをもって粘り強く学び続ける子ども」
- 【おもいやる子】 ～「人を思いやる言葉かけや行動ができる子ども」
- 【やりぬく子】 ～「新たなことに挑戦し努力できる子ども」
- 【きたえる子】 ～「自分の健康・安全に気を配ることができる子ども」

II 中期及び単年度の具体的目標

○今年度の重点目標

- ・本校の教育目標の具現化を図るための「重点目標」を以下の5点とする。

- ① 主体的・対話的で深い学びを通した確かな学力の追求
- ② 豊かな人間性を育む支持的親和的な仲間づくり
- ③ 安全意識の向上と健康な体づくり
- ④ コミュニティ・エリアを基盤とした特色ある学校づくり
- ⑤ 小中一貫教育を支える組織体制の充実

III 各種具体的な計画

重点①：学校と社会の相互連携・協働を促進し、「生きる力」を育む教育課程の編成

(1) 教育課程

◎学校と社会の相互連携・協働を促進し、「生きる力」を育む教育課程の編成

- ① GR—PDCA のカリキュラム・マネジメントに基づく教育課程の工夫・改善を図る。
- ② 学習指導要領の趣旨に沿った教育課程を編成し、新しい時代に対応できる力を育成する。
- ③ 学校・家庭・地域の双方向の連携強化により、教育活動の活性化を図るとともに「社会に開かれた教育課程」を推進する。

(2) 学習指導

◎子どもが主人公になる「授業づくり」の推進

- ① 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に意図的に取り組み、確かな学力の育成と児童生徒一人一人の個別最適な学びを推進する。
- ② ICTの効果的活用による情報活用能力を高める授業及び学習スキルの向上やルール of 徹底による「学びの形成」を高める授業を推進する。
- ③ 「教えて考えさせる授業」の理念を基盤とした身につけるべき資質・能力を明確にした「子どもと創る授業」を展開する。
- ④ 各種調査等による客観的データの分析を踏まえた授業改善の充実を図る。

(3) 外国語・英語科

◎英語が使える児童生徒の育成

- ① ALTの積極的な活用及び教科担任との連携により、生きた英語に触れさせ活用できる力を育む。
- ② 中学校英語科へのスムーズな接続と小中9年間を意識した適切な教育課程を編成する。
- ③ 検定等への積極的な参加を奨励し、英語に対する関心・意欲の向上を図る。

(4) 総合的な学習の時間

◎小中一貫した年間指導計画の編成

- ① 小中9年間を見通した指導計画を編成し、探究的な見方・考え方を効果的に育成する。
- ② 地域の「ヒト・モノ・コト」を積極的に活用する実践を通して、実社会・実生活と関連する課題に気づき、解決しようとする態度を育成する。
- ③ 自己の生き方を考え、将来の実践力を育成する教育課程の充実を図る。

(5) 特別支援教育

◎子ども一人一人の能力や可能性を伸ばす特別支援教育の充実

- ① 特別な配慮を必要とする児童生徒への組織的対応と個別の指導計画及び個別の教育支援計画をもとにした支援の充実を図る。
- ② 特別支援コーディネーターを中心として、児童生徒の実態の把握や個に応じた効果的な支援や指導について話し合い、個々の児童生徒への指導の充実を図る。
- ③ 関係機関と連携や特別支援教育に関する研修を実施し、特別支援教育の充実を図る。

重点②：豊かな人間性を育む支持的親和的な仲間づくり

(6) 道徳教育

◎「特別の教科 道徳」を核とする道徳教育の充実

- ① 「特別の教科 道徳」の時間を要として道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育み、学校の教育活動全体を通じて、自ら感じ、考え、判断し、道徳実践力を育成する。
- ② 生命を大切にすると心や思いやりの心、個性や立場を尊重する態度など豊かな人間性・社会性を育む創意ある指導を行う。
- ③ 道徳教育推進教師を中心に道徳指導の研修を行い、「考え、議論する道徳」に向けた授業改善を推進する。

(7) 特別活動

◎自主的実践的態度を育む特別活動の推進

- ① 児童生徒が学校行事や児童会・生徒会活動を通して、主体的に学校生活を営み、集団の一員として自覚し、よりよく生活しようとする自主的・実践的な態度を育む。

- ② 児童生徒が自分たちの生活の諸問題の解決について話し合う学級活動の授業の充実を図る。
- ③ 協働の重要性や達成感・自己有用感を実感できる体験活動の充実を図る。

(8) 生徒指導

◎子どもの自尊感情・自己有用感・達成感・規範意識を育てる取組の推進

- ① 「傾聴・受容・共感」の信頼関係に基づく仲間づくりを強化し、安心して生活できるように学級経営の充実を図る。
- ② 支持的親和的な人間関係を育む「ピア・サポート」の実践を基盤とした学級づくりを推進する。
- ③ QUTテストの結果分析やコーチングを活用した教育相談により、子どもを理解し、心に寄り添う日常指導の充実を図る。
- ④ 互いに尊重し、認め合うとともに、対立の解消に主体的に取り組む態度を育成する。
- ⑤ コミュニケーションツールとして正しく活用できる力を育む情報モラル教育の充実を図る。

重点③：安全意識の向上と健康な体づくり

(9) 健康

◎しなやかな心と健康な体づくり

- ① 新体力テストなど客観的データをもとにした体育授業等の改善を推進する。
- ② 食に関する指導や薬物乱用防止教室等を実施し健康指導の充実を図る。
- ③ 自己肯定感や自己調整力を高め社会性や他者理解を育む心の教育の充実を図る。
- ④ 運動習慣の確立を図り、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を図る。
- ⑤ 健康情報や新型コロナウイルス感染症など不測の事態に関する情報等を正しく選択して適切に行動できる資質・能力を育む。

(10) 安全・安心

◎小中連携した防災教育の推進

- ① いかなる状況下でも自らの命を守る力を養うとともに、災害時や日常生活の中で何ができるのかを考えさせる防災教育を推進する。
- ② 防災・防犯教育、交通安全指導を計画的に実施し、子どもたちの危機回避能力の伸長を図る。
- ③ 小中合同の避難訓練・情報モラル教室を実施し、防災・防犯意識の向上を図る。

重点④：社会・地域とつながる学校づくり

(11) 北村中学校区コミュニティ・エリア

◎地域とともにある学校づくりの創造

- ① 小中一貫教育活動等の積極的な情報発信、授業参観・懇談会・学校行事等の充実を図る。
- ② P T A及び学校運営協議会の組織体制や活動内容を整理・充実させ、学校・家庭・地域の連携強化を図る。
- ③ 「将来にわたって北村を支える人材の育成」を念頭に、ふるさと愛を育む「ふるさと教育」を基盤として、地域の活性化や地域づくりを推進する。

(12) 進路指導（キャリア教育）

◎自らの生き方を見いだすキャリア教育の推進

- ① 地域教育資源を効果的に活用し、身近な地域学習の中から自らの役割を考える力や働くことへの夢を育む。
- ② 進路計画の立案や社会における自分の役割、将来の生き方・働き方について、キャリアパスポートの効果的活用等により主体的に考える力を育成する。
- ③ 望ましい勤労観・職業観を育成するための職場体験活動の充実を図る。

(13) 教育環境・学習環境の整備

◎安心・安全につなげる教育・学習環境の充実

- ① 「いじめ防止基本方針」をもとに、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。
- ② 「教育支援センター」等の関係機関との連携を図り、悩みや不安をもつ子どもへの支援の充実を図る。
- ③ 校舎内外（グラウンド、校舎、教材園、遊具等）の整備・環境美化に努める。
- ④ 保護者・地域の協力の下、教育環境・学習環境の整備を行う。（P T A・学校運営協議会の活動）

重点⑤：小中一貫教育を支える組織体制の充実

(14) 小中一貫教育

◎子どもが輝く小中学校9年間の一貫した教育の推進

- ① 「学校づくり＝授業づくり」の視点に立った「学び続ける学校」への組織的な改善を図る。
- ② 小中9年間の教育課程を検討・編成及び学びの連続性を実現する教育活動の推進。
- ③ 教科担任制の導入や相互授業参観、相互乗り入れ授業、合同授業等により、連携の強化と授業改善を推進する。
- ④ 小中で統一した学力向上への取組成果を検証し、合同研修等で指導力向上を図る。

(15) 校内研修

◎小中一貫した授業展開「北村スタイル」の確立

- ① 「子どもと創る授業」づくりを基盤とし、教師の“教えたい”を児童生徒の“学びたい”に変える授業改善を推進する。
- ② 小中9年間の「北村スタイル」の構築を目指し、小中合同での研修体制の強化及び実践的指導力の向上を図る。
- ③ I C Tの効果的活用や授業のハイブリット化に向けた実践的研修を推進する。
- ④ 積極的に公開研究会、各種研修会、各種講座に積極的に参加し、専門性や実践的指導力の向上を図る。

(16) 働き方改革の推進

◎子どもを徹底して大切にする教育に資する「学校における働き方改革」の充実

- ① 教員が自らの授業を磨くとともに、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることにより自らの人間性や創造性を高める。
- ② 教員が笑顔になり、児童生徒も笑顔になれる学校における働き方改革を推進する。
- ③ ライフステージやキャリアステージに応じた資質・能力の養成による「教えるプロ」の育成を図る。
- ④ 勤務時間管理の徹底と勤務時間・健康管理を意識した働き方を推進する。
- ⑤ 学校内外との関係で連携・分担して課題に対応できる体制の充実を図る。

今年度の数値目標

達成：青 未達成：赤

- (1) 全国学力・学習状況調査の平均正答率及び新体力テストで全国比平均以上

全国学力・学習状況調査：全国平均比	国語 111	算数 97	※4月に実施
新体力テスト・実技調査T得点：全国平均比	男子 110	女子 106	※6月に実施

- (2) 標準学力検査（NRT）の学力偏差値を50以上

国語	2年 50.1	3年 53.0	4年 49.7	5年 46.2	6年 52.4	※4月に実施
算数	2年 49.3	3年 55.0	4年 50.3	5年 45.4	6年 46.3	※4月に実施

- (3) 学校評価保護者アンケート項目全てで「肯定的評価」を95%以上

肯定的評価90%以上は、12項目中3項目だった	※11月に実施
-------------------------	---------

- (4) 学校評価児童生徒アンケート項目全てで「肯定的評価」を95%以上

肯定的評価95%以上は、8項目中6項目だった	※11月に実施
------------------------	---------

- (5) 19：00施錠（月平均）

達成できた

Ⅳ 各種評価結果と分析・考察

※次ページから掲載

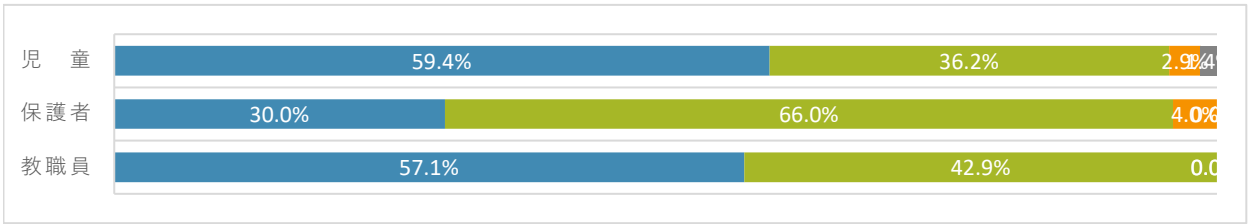
めざす学校像①「児童生徒が期待感をもって通う学校」に関する質問

○令和5年度 学校経営方針		
めざす学校像	①	「児童生徒が期待感をもって通う学校」
	②	「家庭・地域が応援したくなる学校」
	③	「活気があり教職員が充実感を持てる学校」

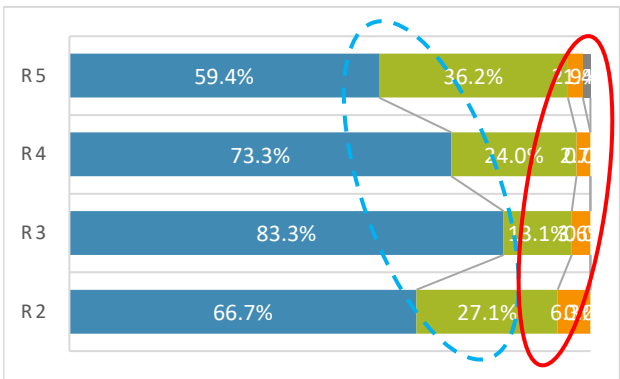
対象	質問番号	質問事項
児 童	1	学校は楽しいですか
保護者	1	北村小は、子どもたちが生き生きする教育活動（授業・行事）に取り組んでいると思いますか
教職員	1	北村小は、子どもたちが生き生きする教育活動（授業・行事）に取り組んでいる

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:黄色 まったく:灰色

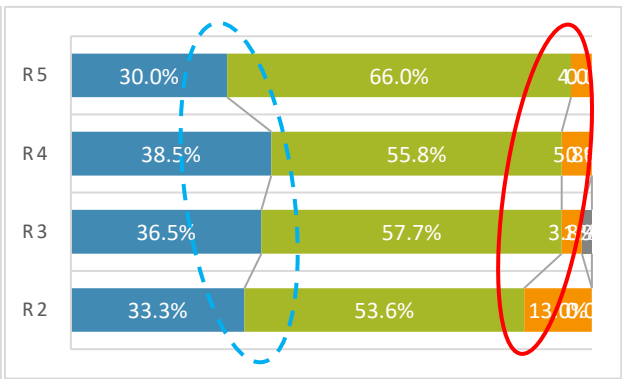
【児童・保護者・教職員の比較】



【児童の経年変化】



【保護者の経年変化】



〈アンケート結果の経年変化から〉	
【児童】	
○学校は楽しいと回答している児童の割合は増加傾向が見られます。とても楽しいが減少傾向にあります。	
【保護者】	
○北村小は、子どもたちが生き生きする教育活動に取り組んでいると回答している保護者の割合は、大きな変化は見られませんが、微増してきています。	

〈考察〉	
○保護者の上位評価が96.0%で、本アンケートの項目中最も高い割合となっており、児童の上位評価についても高い評価が持続されている。本校の教育活動全体について児童を通しての視点において、一定の成果が認められていると考えられる。	

めざす学校像②「家庭・地域が応援したくなる学校」に関する質問

○令和5年度 学校経営方針

めざす学校像

①「児童生徒が期待感をもって通う学校」

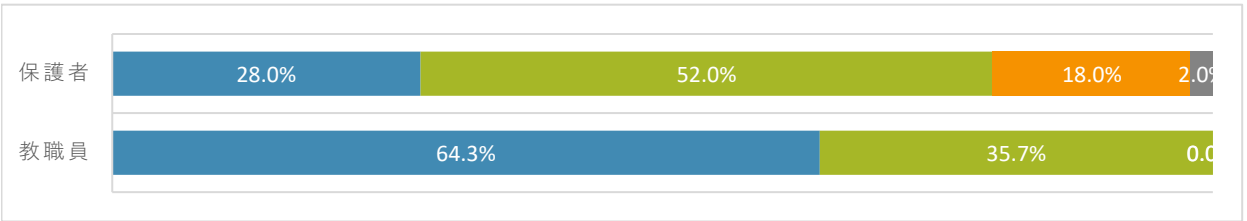
②「家庭・地域が応援したくなる学校」

③「活気があり教職員が充実感を持てる学校」

対象	質問番号	質問事項
児 童		
保護者	8	北村小は、児童や保護者の期待に応え、信頼できる学校であると思いますか
教職員	9	北村小は、児童や保護者の期待に応え、信頼される学校になるよう取り組んでいる

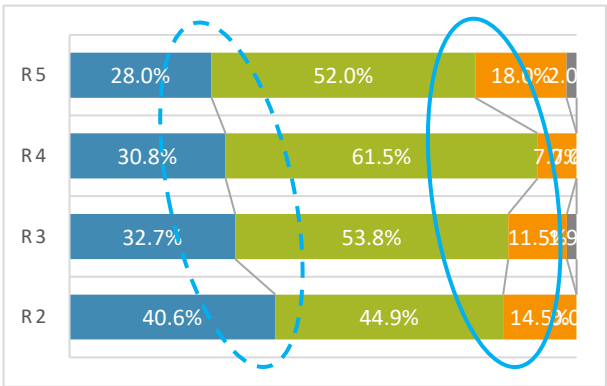
グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:黄色 まったく:灰色

【児童・保護者・教職員の比較】



【児童の経年変化】

【保護者の経年変化】



<アンケート結果の経年変化から>

【保護者】

○北村小は、児童や保護者の期待に応え、信頼される学校になるよう取り組んでいると回答している保護者の割合は、上位評価の増加傾向から転じて減少しています。

○「とても」思うと回答している保護者は、減少傾向が見られます。

<考察>

○保護者の上位評価が81.6%で相対的に低くはないものの、減少傾向が見られる。このことは、質問番号5の「北村小は、子どもの声に耳をかたむけ、相談などに適切に応じていると思いますか」で、特に減少傾向が見られていることから、関連した結果ではないかと推察する。要因は多岐に渡ると考え、組織的な対応をさらに高めて対応が求められる。

めざす学校像③「活気があり教職員が充実感を持てる学校」 および 経営の重点(重点5) に関する質問

○令和5年度 学校経営方針

めざす学校像

①「児童生徒が期待感をもって通う学校」

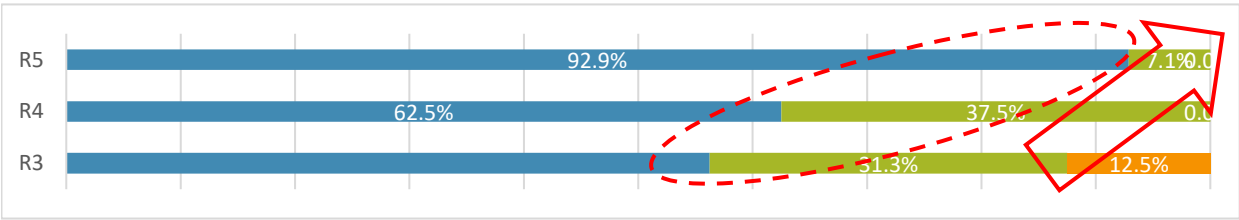
②「家庭・地域が応援したくなる学校」

③「活気があり教職員が充実感を持てる学校」

○経営の重点(重点5) 小中一貫教育を支える組織体制の充実

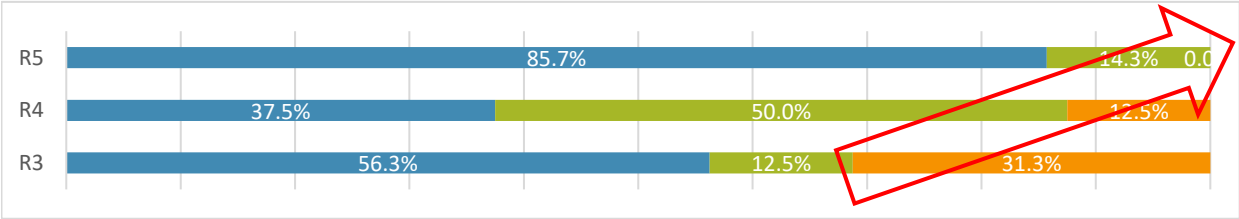
対象	質問番号	質問事項
教職員	12	北村小は、やりがいをもって勤務できる職場である

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:黄色 まったく:灰色



対象	質問番号	質問事項
教職員	13	北村小は、組織的に業務を推進する職場である

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:黄色 まったく:灰色



<アンケート結果の経年変化から>

○「やりがいのある職場」「組織的な職場」の両方で、上位評価が増加しています。

○「とても」の評価が9割程度まで上がっています。

<考察>

○組織的に業務を推進することと、“やりがい”に相関関係があるか否かはわからないとして、めざす学校像としての「活気があり教職員が充実感を持てる学校」へ向かっているといえる。また、様々な学校課題の解決への取組について、肯定的に取り組めてきていると考えられる。

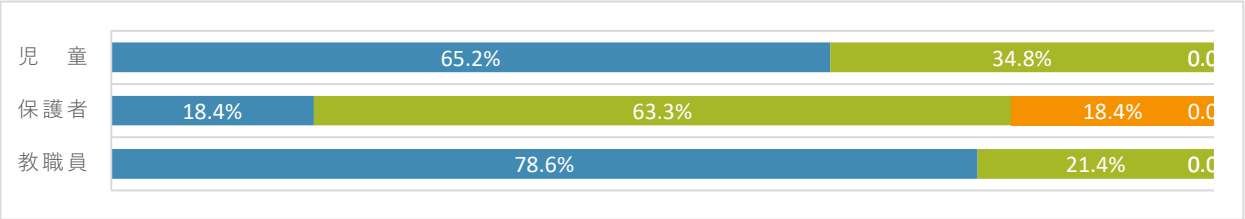
経営の重点（重点1）「主体的・対話的で深い学びを通した確かな学力の定着」に関する質問

- 令和5年度 経営の重点（重点1）主体的・対話的で深い学びを通した確かな学力の追求
- 学校と社会の相互連携・協働を促進し、「生きる力」を育む教育課程の編成
- 子どもが主人公になる「授業づくり」の推進
- 英語が使える児童生徒の育成
- 小中一貫した年間指導計画の編成
- 子ども一人一人の能力や可能性を伸ばす特別支援教育の充実

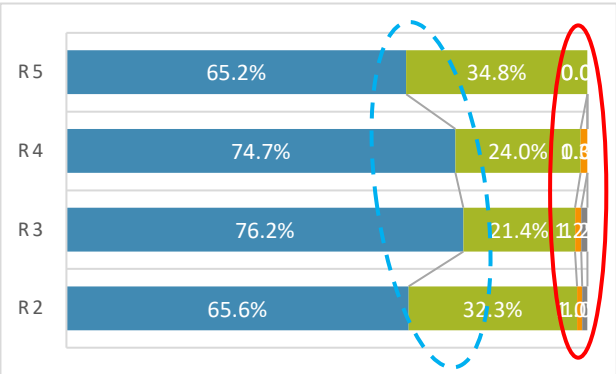
対象	質問番号	質問事項
児 童	2	先生の授業は、わかりやすいですか。
保護者	2	北村小は、学びに向かう力の育成・ICTの効果的な活用・授業改善などに努めていると思いますか
教職員	2	北村小は、ICTの効果的な活用・学びに向かう力の育成・授業改善などに努めている

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:黄色 まったく:灰色

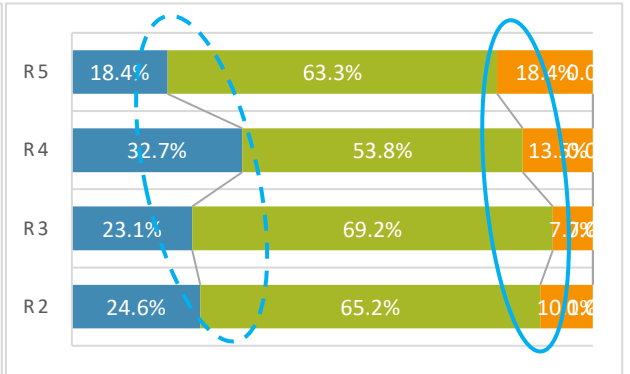
【児童・保護者・教職員の比較】



【児童の経年変化】



【保護者の経年変化】



〈アンケート結果の経年変化から〉

【児童】

○先生の授業はわかりやすいと回答している児童の上位評価の割合が高い水準で維持されています。

【保護者】

○北村小は、学びに向かう力の育成・ICTの効果的な活用・授業改善などに努めていると回答している保護者の割合は、減少傾向が見られます。

〈考察〉

○児童の上位評価は高い水準を維持しており、GIGAスクール構想におけるICT機器が授業の中で本格導入されてきたことがうまく機能してきていると考える。保護者の上位評価に減少傾向があることから、期待感が今一つ果たし切れていないことや、小中で連携した授業改善の取組の成果が見えにくいことが考えられる。子どもに身に付けさせたい力をさらに明確にし、子どもたちの姿や客観的なデータを基にして、実感できるようにしていくことが重要と考える。

経営の重点（重点1）「主体的・対話的で深い学びを通した確かな学力の定着」に関する質問

- 令和5年度 経営の重点（重点1）主体的・対話的で深い学びを通した確かな学力の定着
- 学校と社会の相互連携・協働を促進し、「生きる力」を育む教育課程の編成

○子どもが主人公になる「授業づくり」の推進

○英語が使える児童生徒の育成

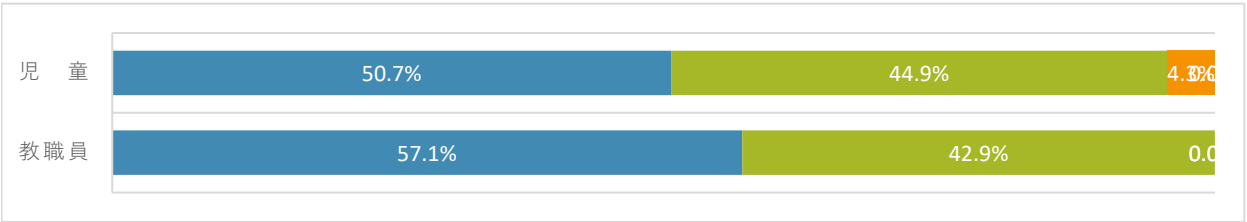
○小中一貫した年間指導計画の編成

○子ども一人一人の能力や可能性を伸ばす特別支援教育の充実

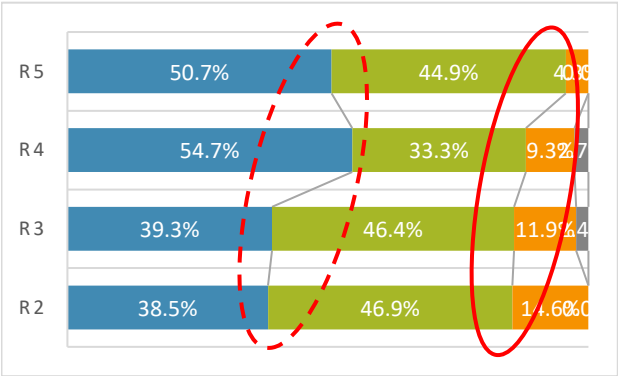
対象	質問番号	質問事項
児 童	3	授業中、友だちの話をきちんと聞いて、自分の考えをしっかりと伝えていますか
教職員	3	北村小は、授業で主体的に学ぶ態度や対話性の育成、子どもと創る授業づくりに取り組んでいる

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:黄色 まったく:灰色

【児童・保護者・教職員の比較】



【児童の経年変化】



【保護者の経年変化】

〈アンケート結果の経年変化から〉

【児童】

○授業中、友だちの話をきちんと聞いて、自分の考えをしっかりと伝えている児童の割合は、増加傾向が見られます。

〈考察〉

○経年変化の様子から、子どもたちの主体的・対話的に学ぶ態度の育成を図る授業の展開が、徐々に定着してきていることが表れていることが考えられる。

経営の重点（重点2）「豊かな人間性を育む支持的・親和的な仲間づくり」に関する質問

○令和5年度 経営の重点（重点2）豊かな人間性を育む支持的・親和的な仲間づくり

○「特別の教科 道徳」を核とする道徳教育の充実

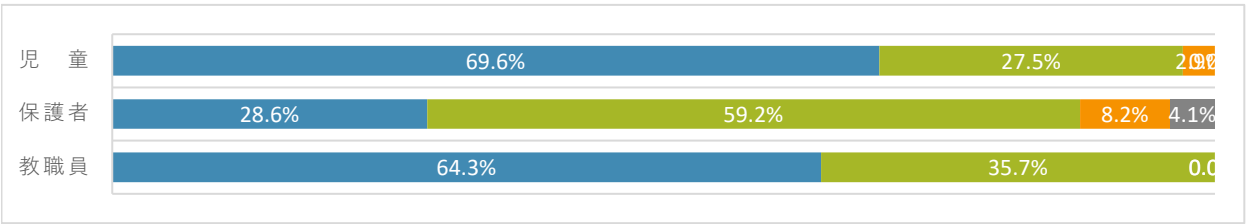
○自主的実践的態度を育む特別活動の推進

○子どもの自尊感情・自己有用感・達成感・規範意識を育てる取組の推進

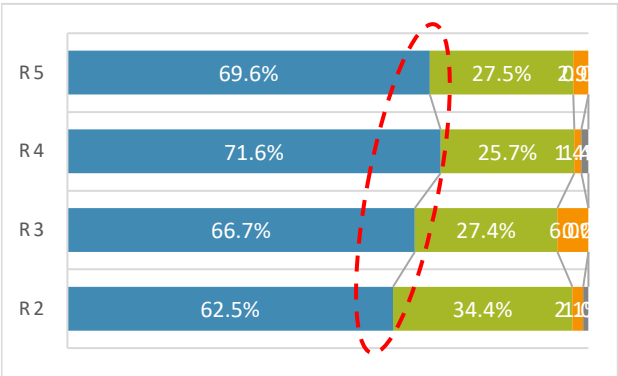
対象	質問番号	質問事項
児 童	5	友だちと なかよく できていますか
保護者	4	北村小は、思いやりや友だちを大切にする心の育成に努めていると思いますか
教職員	5	北村小は、「傾聴・受容・共感」の信頼関係に基づく集団・仲間づくり、心の育成に努めている

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:黄色 まったく:灰色

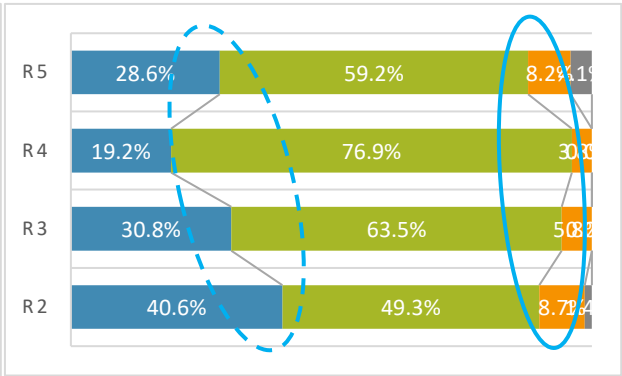
【児童・保護者・教職員の比較】



【児童の経年変化】



【保護者の経年変化】



〈アンケート結果の経年変化から〉

【児童】

○友だちとなかよくできていると回答している児童の割合は、上位評価が高い値で推移しています。「とても」思うの回答は増加傾向がはっきりと表れています。

【保護者】

○北村小は、思いやりや友だちを大切にする心の育成に努めていると回答している保護者の割合は、上位回答に減少傾向が見られます。「とてもそう思う」は減少から増加に転じています。

〈考察〉

○児童の上位評価が高水準で推移しており、「とても」の割合が増加傾向で「傾聴・受容・共感」の信頼関係に基づく集団・仲間づくりのこれまでの取組に一定の成果があると考えます。しかし、保護者の上位評価には減少傾向があり、このことは児童の下位評価が少ないながらも一定数あることと関連づけて対応する必要があります。

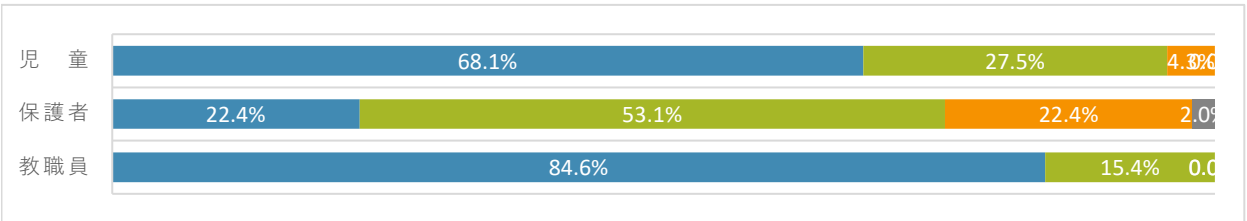
めざす教師像①「心に寄り添い児童生徒を徹底して大切にする教師」に関する質問

めざす教師像	①「心に寄り添い児童生徒を徹底して大切にする教師」 ②「授業改善や授業づくりに励み、研鑽し高め合う教師」 ③「家庭・地域との連携・協働を大切に信頼される教師」
--------	---

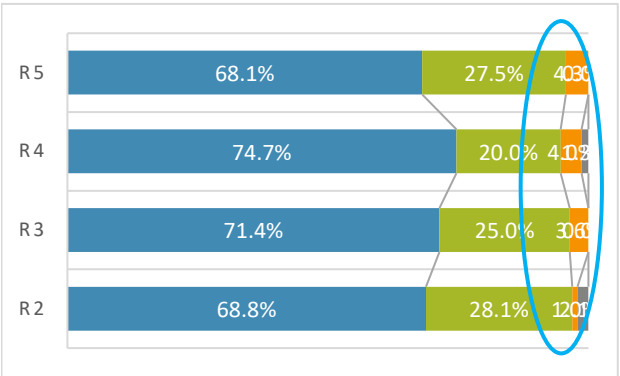
対象	質問番号	質問事項
児 童	6	先生は、あなたの話をきちんと聞いたり、声をかけたりしてくれる
保護者	5	北村小は、子どもの声に耳をかたむけ、相談などに適切に応じていると思いますか
教職員	6	北村小は、子どものことをよく理解し、相談などに適切に応じるよう努めている

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:黄色 まったく:灰色

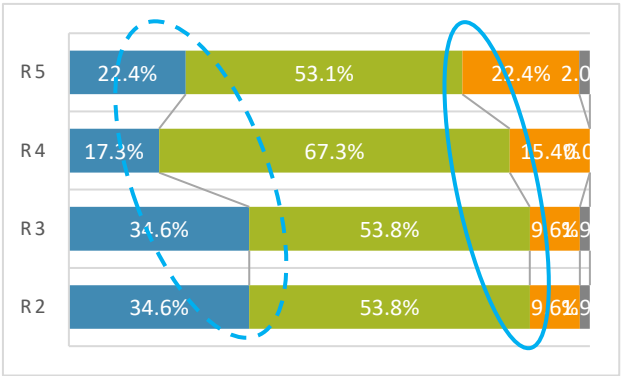
【児童・保護者・教職員の比較】



【児童の経年変化】



【保護者の経年変化】



〈アンケート結果の経年変化から〉

【児童】

○先生は話をきちんと聞いたり、声をかけたりしてくれると回答している児童の割合は、比較的望ましい状態で推移しています。

【保護者】

○北村小は、子どもの声に耳をかたむけ、相談などに適切に応じていると回答している保護者の割合は、上位評価の減少傾向が見られます。

〈考察〉

分析<6>と同様に、保護者の上位評価には減少傾向があり、このことは児童の下位評価が少ないながらも一定数あることと関連づけて対応する必要がある。

経営の重点（重点4）「社会・地域とつながる学校づくり」に関する質問

○令和5年度 経営の重点（重点4）コミュニティ・エリアを基盤とした学校づくり

○地域とともにある学校づくりの創造

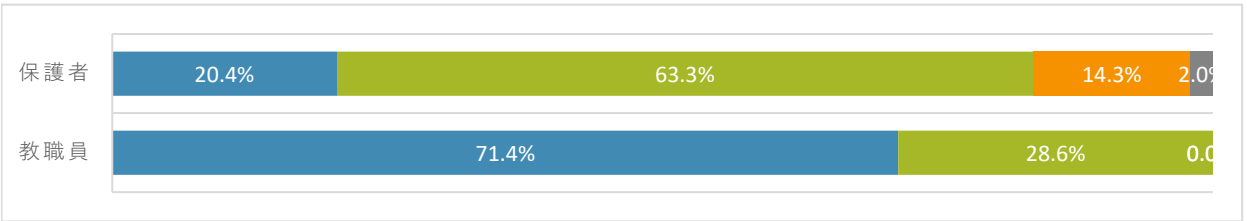
○自らの生き方を見いだすキャリア教育の推進

○安心・安全につなげる教育・学習環境の充実

対象	質問番号	質問事項
児 童		
保護者	6	北村小は、いじめや生活指導上の問題に素早く適切に対応していますか
教職員	7	北村小は、いじめや生活指導上の問題に素早く適切に対応している

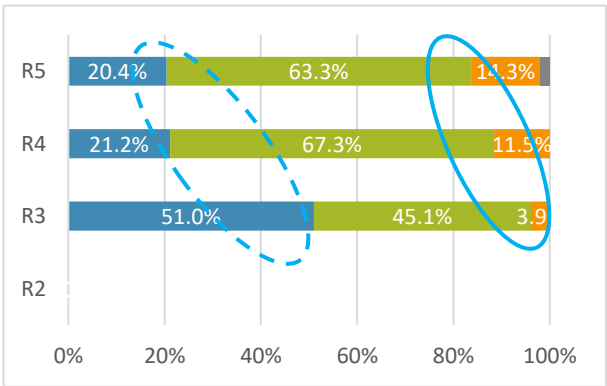
グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:黄色 まったく:灰色

【児童・保護者・教職員の比較】



【児童の経年変化】

【保護者の経年変化】



〈アンケート結果の経年変化から〉

【保護者】

いじめや生活指導上の問題に素早く適切に対応していますかの回答で、上位評価の減少傾向が続いています。

〈考察〉

○本アンケートの他の項目との比較において、今年度の上位評価83.7%は極端に低いものではない。しかし、上位評価の減少は明らかである。いじめの認知を幅広く行い、組織的・継続的に指導することに取り組みを進めてきているものの、保護者の願いや求める水準に達していない部分があることを捉えた取組の改善が求められていると考える。

経営の重点（重点2）「豊かな人間性を育む支持的・親和的な仲間づくり」に関する質問

○令和5年度 経営の重点（重点2）豊かな人間性を育む支持的・親和的な仲間づくり

○「特別の教科 道徳」を核とする道徳教育の充実

○自主的実践的態度を育む特別活動の推進

○子どもの自尊感情・自己有用感・達成感・規範意識を育てる取組の推進

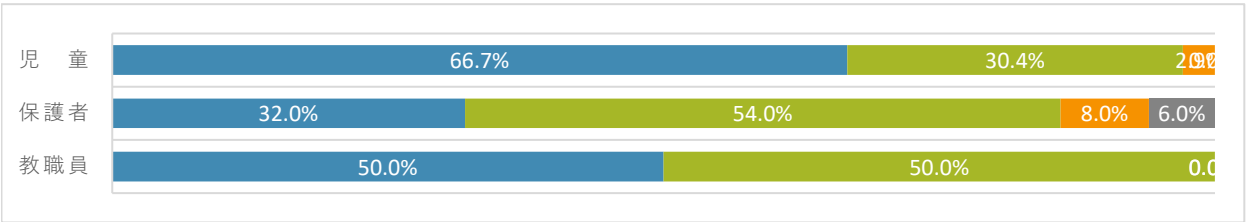
めざす教師像

①「心に寄り添い児童生徒を徹底して大切にする教師」

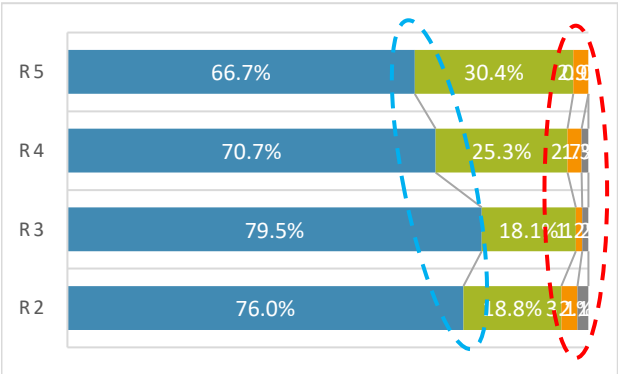
対象	質問番号	質問事項
児 童	7	先生は、あなたのことをほめたり、はげましたりしてくれますか
保護者	7	北村小は、子どもをほめたり励ましたりして、意欲を引き出していると思いますか
教職員	8	北村小は、子どもの自己肯定感や自己調整力を高め、社会性や他者理解を育む心の教育に努めている。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:黄色 まったく:灰色

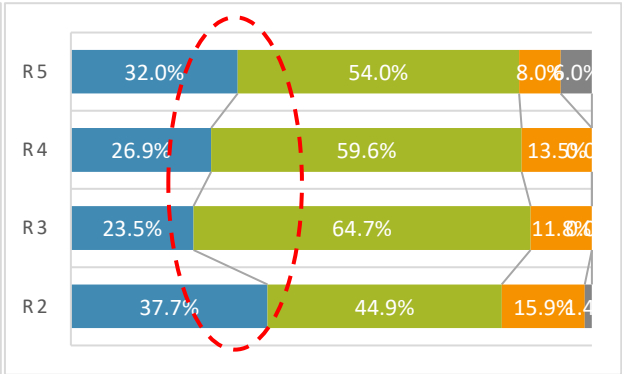
【児童・保護者・教職員の比較】



【児童の経年変化】



【保護者の経年変化】



〈アンケート結果の経年変化から〉

【児童】

○先生は、ほめたり、はげましたりしてくれると回答している児童の割合は、上位評価の変化は高い水準で推移しています。「とても」思うの回答は、減少傾向が見られます。

【保護者】

○北村小は、子どもをほめたり励ましたりして、意欲を引き出していると回答している保護者の割合は、4年間で大きな変化は見られません。

〈考察〉

○児童の評価はおおむね良好であるとする。保護者の下位評価が10%強で推移してきていることから、取組を見直して改善を図る必要があると考える。

経営の重点（重点4）「社会・地域とつながる学校づくり」に関する質問

○令和5年度 経営の重点（重点4）コミュニティ・エリアを基盤とした特色ある学校づくり

○地域とともにある学校づくりの創造

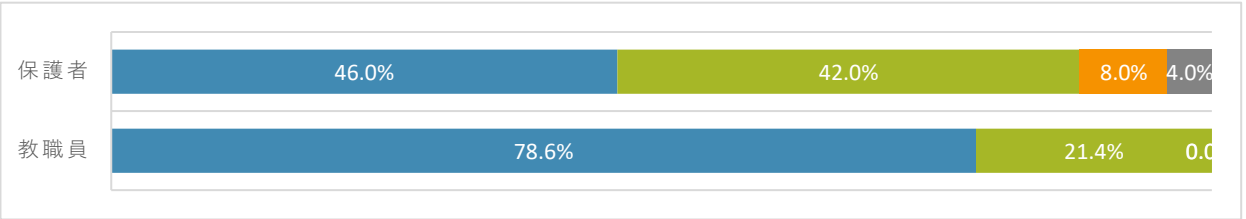
○自らの生き方を見いだすキャリア教育の推進

○安心・安全につなげる教育・学習環境の充実

対象	質問番号	質問事項
児 童		
保護者	9	北村小は、積極的な情報発信（お便り、懇談会、一斉同報メールなど）に努めていると思いますか
教職員	10	北村小は、積極的な情報発信（お便り、懇談会、一斉同報メールなど）に努めている

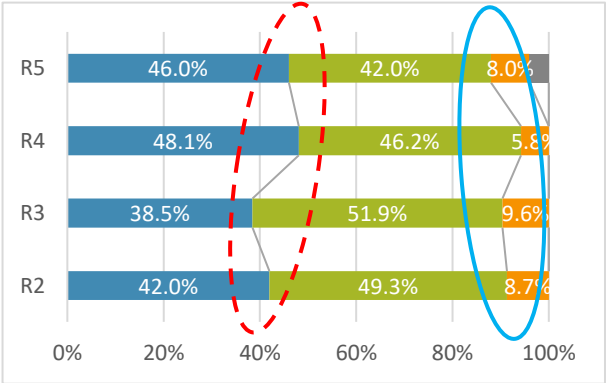
グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:黄色 まったく:灰色

【児童・保護者・教職員の比較】



【児童の経年変化】

【保護者の経年変化】



〈アンケート結果の経年変化から〉

【保護者】

○北村小は、学校からの便りや懇談会などで教育方針や教育内容をわかりやすく伝えていていると回答している保護者の割合は、「とてもそう思う」は増加傾向が見られるものの、上位評価がゆるやかに減少傾向が見られます。

〈考察〉

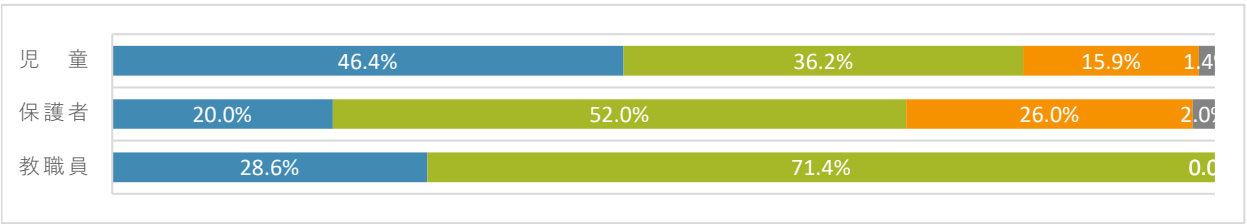
○コロナ対応における直接対話の機会の制限緩和により、この項目の改善が図られてくると考えていたものの結果はそれほどではなかったと考えます。情報発信については、方法・内容・タイミングの改善を図ることが重要と考える。

家庭学習習慣の定着 に関する質問

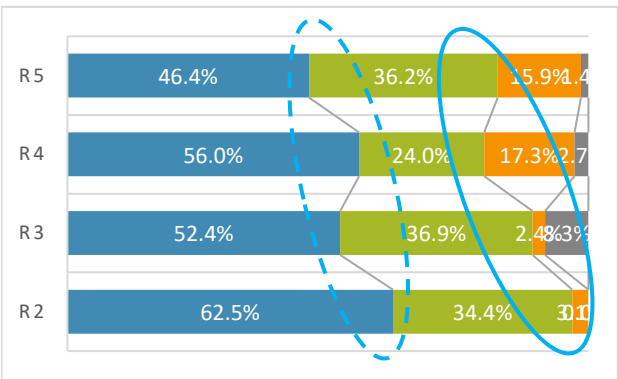
対象	質問番号	質問事項
児 童	4	家で勉強していますか
保護者	3	家庭では、お子さんは家庭学習の習慣がありますか
教職員	4	北村小は、家庭の協力を得ながら、家庭学習の充実に努めている

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:黄色 まったく:灰色

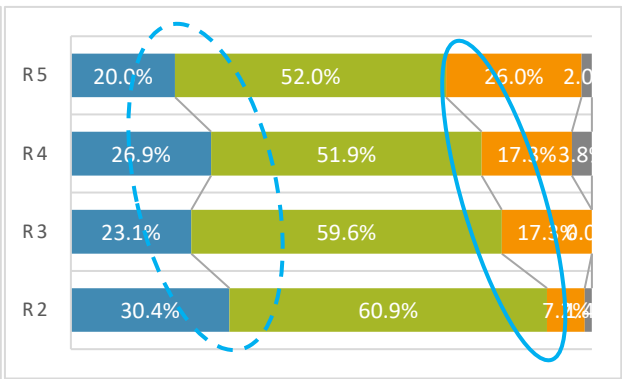
【児童・保護者・教職員の比較】



【児童の経年変化】



【保護者の経年変化】



〈アンケート結果の経年変化から〉

【児童】

○毎日 家で勉強していると回答している児童の割合は、減少傾向にあります。

【保護者】

○家庭学習の習慣づくりの上位評価が減少傾向にあり、児童の回答とほぼ同じ傾向が見られます。

〈考察〉

○家庭学習の習慣化について減少傾向が進んでいる。何をどのようにどのくらい取り組むのかの方法や、必要に応じて自学自習の主体的な取組を進める姿勢について、これまでの取組に対して見直しの時期に入っていると捉える必要がある。

経営の重点（重点3）「安全意識の向上と健康な体づくり」に関する質問

○令和5年度 経営の重点（重点3）安全意識の向上と健康な体づくり

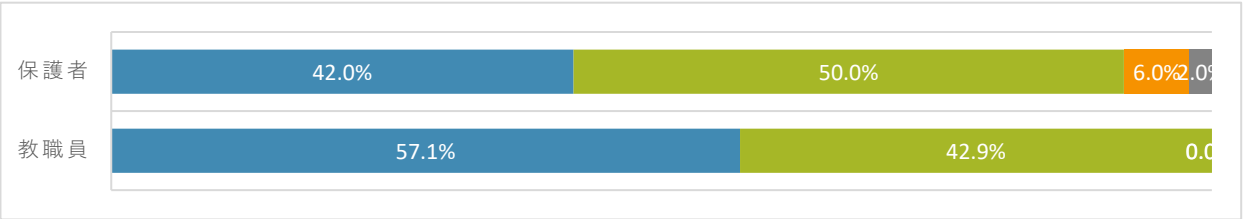
○しなやかな心と健康な体づくり

○小中連携した防災教育の推進

対象	質問番号	質問事項
児 童		
保護者	10	北村小は、子どもたちの事故防止、安全確保(コロナ含む)に努めていると思いますか
教職員	11	北村小は、子どもたちの事故防止、安全確保(コロナ含む)に努めている

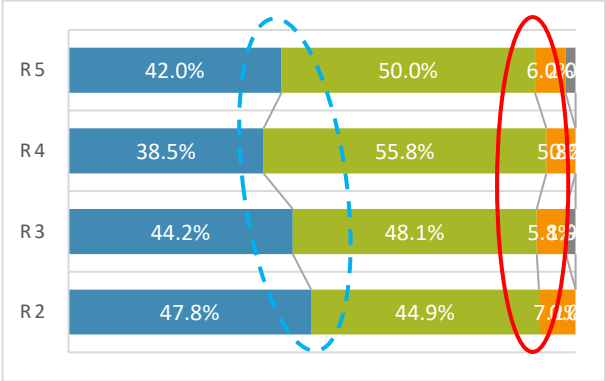
グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:黄色 まったく:灰色

【児童・保護者・教職員の比較】



【児童の経年変化】

【保護者の経年変化】



〈アンケート結果の経年変化から〉

【保護者】

○北村小は、子どもたちの事故防止、安全確保(コロナ含む)に努めていると回答している保護者の割合は、上位評価は高い水準で変化がありません。「とても」そう思うが減少傾向にあります。

〈考察〉

○保護者の上位評価が92.0%で、本アンケートの項目中で2番目に高い割合となっている。本校の対応について一定の成果が認められていると考えられる。より高い安心感を得るために、危険を回避する予防の観点を大切にしつつ、危機管理マニュアルの充実を図って迅速で的確な対応が図れるようにしていく必要がある。

「自立する子ども」に関する質問

○令和5年度 経営の重点（重点4）コミュニティ・エリアを基盤とした特色ある学校づくり

○地域とともにある学校づくりの創造

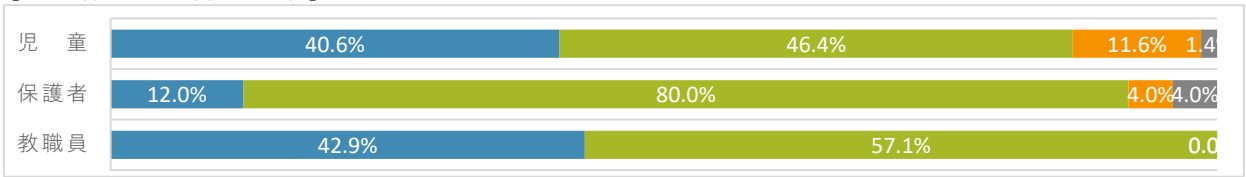
○自らの生き方を見いだすキャリア教育の推進

○安心・安全につなげる教育・学習環境の充実

対象	質問番号	質問事項
児 童	8	目標をもって、自分で考え、自分の力で行動できていますか
保護者	12	北村小は「自立する子ども」の育成に取り組んでいると思いますか
教職員	14	北村小は、「自立する子ども」の育成に取り組んでいる

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:黄色 まったく:灰色

【児童・保護者・教職員の比較】



【児童の経年変化】

【保護者の経年変化】

〈アンケート結果の経年変化から〉

【児童】

今年度からの新しい設問

【保護者】

今年度からの新しい設問

〈考察〉

○今年度に新設した項目なので、経年比較はなし。次年度以降、具体的な取組に関連付けて、意識を高める工夫があると考える。



学校教育目標

もとめる子 思いやる子 やりぬく子 きたえる子

第 11 号

岩見沢市立北村小学校
令和5年12月21日 発行

学校評価公表

学校だより

令和5年度 学校評価アンケート結果分析の報告

過日、保護者の皆様には、本校の教育についてのアンケート(学校評価アンケート)にご協力いただきましてありがとうございました。アンケートの結果および学校改善の方向性などをまとめ、以下にお示しいたします。

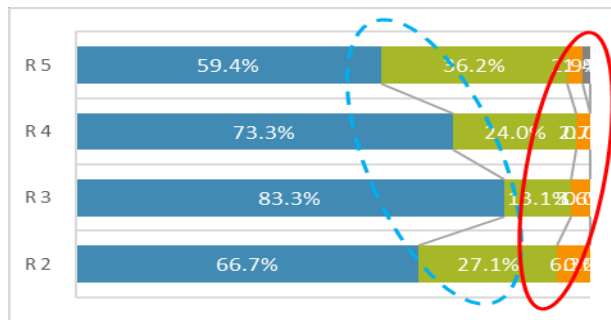
今後ともより良い教育活動を提供するため工夫改善してまいります。本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

分析〈1〉めざす学校像①「児童生徒が期待感をもって通う学校」に関する質問

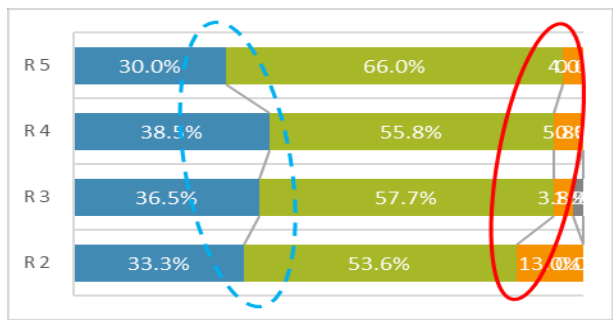
対 象	質問No.	質 問 文
児 童	1	学校は楽しいですか
保護者	1	北村小は、子どもたちが生き生きする教育活動(授業・行事)に取り組んでいると思いますか

とても：青色 だいたい：緑色 あまり：黄色 まったく：灰色

【児童の経年変化】



【保護者の経年変化】



○保護者の上位評価が96.0%で、本アンケートの項目中最も高い割合となっており、児童の上位評価についても高い評価が持続されました。本校の教育活動全体について児童を通しての視点において、一定の成果が認められていると考えられます。

◎今年度は、コロナ禍の制限緩和の移行期として、児童の健康に配慮しながらさまざまな活動を再開したり、見直したりしてきました。回顧主義に陥らず、現状を見極めて今とこれから必要であるものを考え提供することに努めてまいります。

分析〈2〉めざす学校像②「家庭・地域が応援したくなる学校」に関する質問

対 象	質問No.	質 問 文
保護者	8	北村小は、児童や保護者の期待に応え、信頼できる学校であると思いますか



【保護者の経年変化】



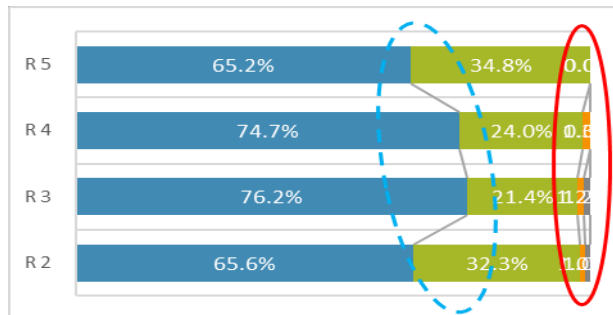
○保護者の上位評価が81.6%で相対的に低くはないものの、減少傾向があります。このことは、質問番号5の「北村小は、子どもの声に耳をカタむけ、相談などに適切に応じていると思いますか」で、特に減少傾向が見られていることから関連が推察されます。分析〈1〉と傾向が異なるので、日常生活に係る部分や学校対応の部分の改善が求められていると考えます。

◎学校課題や児童の困り感に係ることについて、組織的な対応をさらに進めてまいります。また、情報不足が不安や不信を招くことを踏まえて、情報の受信と発信、その後の対応を丁寧に行うよう努めてまいります。

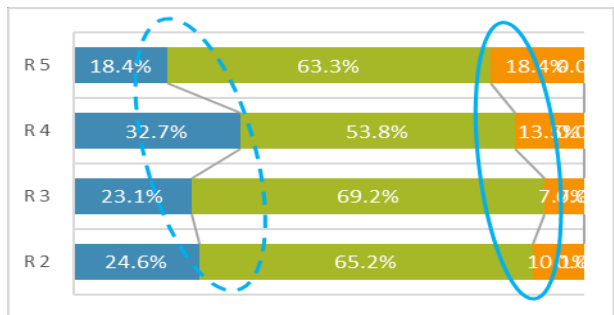
分析〈3〉経営の重点（重点1）「主体的・対話的で深い学びを通した確かな学力の定着」に関する質問

対 象	質問No.	質 問 文
児 童	2	先生の授業は、わかりやすいですか
保護者	2	北村小は、学びに向かう力の育成・ICTの効果的な活用・授業改善などに努めていると思いますか

【児童の経年変化】



【保護者の経年変化】



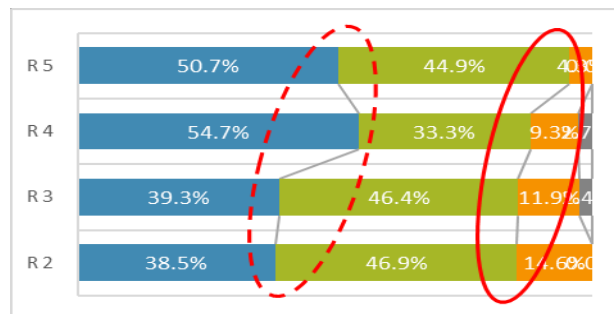
○児童の上位評価は高い水準を維持しており、ICT 機器が授業の中でうまく機能してきていると考えます。保護者の上位評価に減少傾向があるので、期待感が今一つ果たし切れていないことや、小中で連携した授業改善の取組の成果が見えにくいことが要因にあるように捉えました。

◎子どもたちに身に付けさせたい力をさらに明確にし、子どもたちの姿や客観的なデータを基にして、成果や課題を実感できるようにしてまいります。また、岩見沢市で推進している「子どもと創る授業」について共通理解が図られるようにします。

分析〈4〉経営の重点（重点1）「主体的・対話的で深い学びを通した確かな学力の定着」に関する質問

対 象	質問No.	質 問 文
児 童	3	授業中、友だちの話をきちんと聞いて、自分の考えをしっかりと伝えていますか

【児童の経年変化】



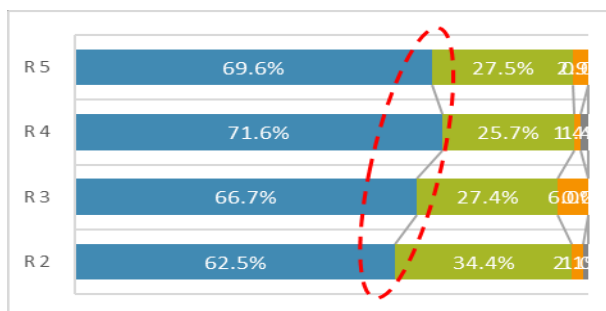
○経年変化の様子から、子どもたちの主体的・対話的に学ぶ態度の育成を図る授業の展開が、徐々に定着してきていることが表れていると考えられます。

◎身に付けるべき『学習スキル』を発達段階で整理して、小中合同で取組を進めてきております。引き続き、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組み、子どもたちの確かな学力の育成に努めてまいります。

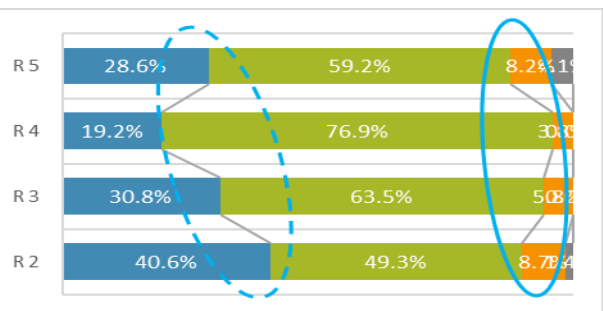
分析〈5〉経営の重点（重点2）「豊かな人間性を育む支持的・親和的な仲間づくり」に関する質問

対 象	質問No.	質 問 文
児 童	5	友だちと なかよく できていますか
保護者	4	北村小は、思いやりや友だちを大切にする心の育成に努めていると思いますか

【児童の経年変化】



【保護者の経年変化】



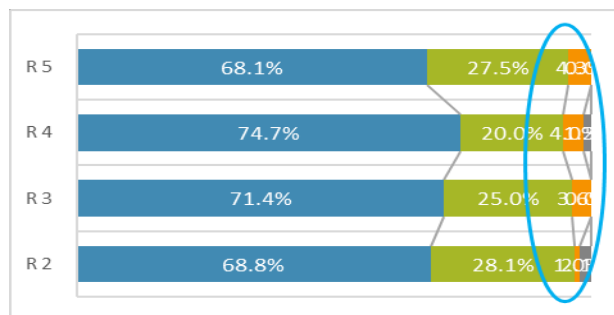
○児童の上位評価が高水準で推移しており、「とても」の割合に増加傾向が見られます。しかし、保護者の上位評価には減少傾向が見られ、このことは児童の下位評価が少ないながらも一定数あることと関連づけて対応する必要があると考えます。

◎「傾聴、受容、賞賛」による支持的親和的な風土づくり、道徳授業、ピア・サポート等の取組の広報に努めてまいります。またトラブルの対応や解決に向けては、保護者との連携にも重きを置くと共に、組織的な対応に努めてまいります。

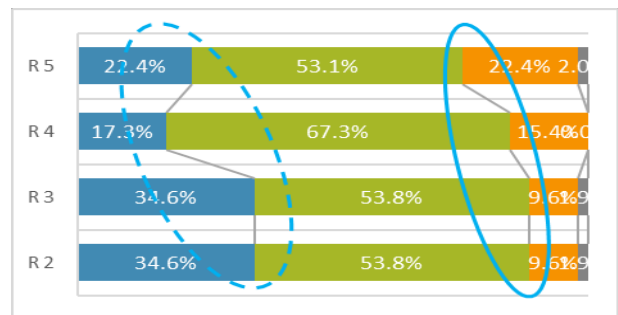
分析〈6〉めざす教師像①「心に寄り添い児童生徒を徹底して大切にする教師」に関する質問

対 象	質問No.	質 問 文
児 童	6	先生は、あなたの話をきちんと聞いたり、声をかけたりしてくれる
保護者	5	北村小は、子どもの声に耳をかたむけ、相談などに適切に応じていると思いますか

【児童の経年変化】



【保護者の経年変化】



○分析〈5〉と同様の傾向がみられていると考えます。ただし、保護者の回答で下位評価が2割強まで増加してきていることは課題であるとおさえ、改善が必要であると考えます。

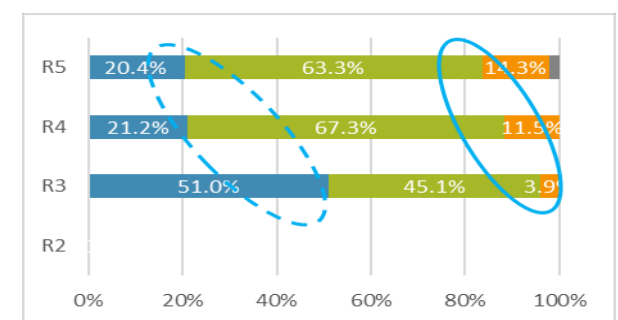
◎QUTテストの結果分析やコーチングを活用した教育相談により、子どもを理解し、心に寄り添う日常指導の充実に努めてまいります。また、保護者と電話連絡等で相互に情報共有を積極的に図り、協同して子ども理解に努めてまいります。

分析〈7〉経営の重点（重点4）「社会・地域とつながる学校づくり」に関する質問

対 象	質問No.	質 問 文
保護者	6	北村小は、いじめや生活指導上の問題に素早く適切に対応していますか



【保護者の経年変化】



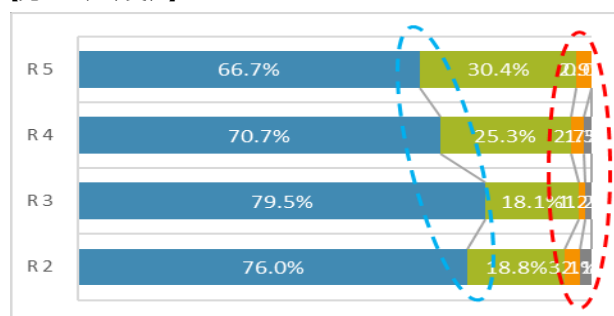
○他の項目との比較すると上位評価83.7%は極端に低いものではありませんが、上位評価の減少が明確に表れています。

◎いじめの認知を幅広く行い、組織的・継続的に指導することに取り組みを進めてきているものの、保護者の願いや求める水準に達していない部分があることを踏まえた取組の改善が求められていると捉えます。国の生徒指導提要の改定に基づいて、本校のいじめ防止基本方針の改訂を今年度中に図ります。いじめや嫌と感じる行為を認知したら粘り強く解決を図ることについて、丁寧な説明を心がけて進めてまいります。

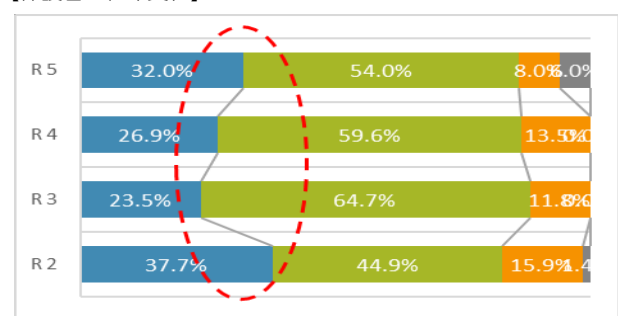
分析〈8〉経営の重点（重点2）「豊かな人間性を育む支持的・親和的な仲間づくり」に関する質問

対 象	質問No.	質 問 文
児 童	7	先生は、あなたのことをほめたり、はげましたりしてくれますか
保護者	7	北村小は、子どもをほめたり励ましたりして、意欲を引き出していると思いますか

【児童の経年変化】



【保護者の経年変化】



○児童の評価はおおむね良好であると考えます。保護者の「とても」が増加傾向に転じていますが、下位評価が10%強で推移しています。

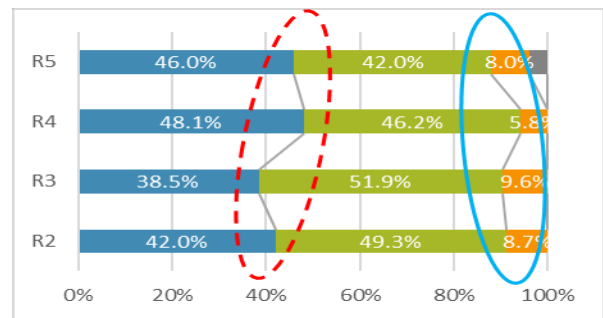
◎「コーチングを活用した生徒指導・教育相談の充実」、「社会性や他者理解を育む心の教育の充実」、「自己肯定感や自己調整力を高める指導の充実」に努めてまいります。

分析〈9〉経営の重点（重点4）「社会・地域とつながる学校づくり」に関する質問

対 象	質問No.	質 問 文
保護者	9	北村小は、積極的な情報発信（お便り、懇談会、一斉同報メールなど）に努めていると思いますか



【保護者の経年変化】



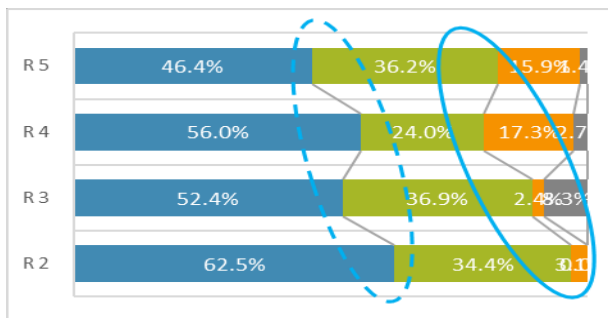
○コロナ対応における直接対話の機会の制限緩和により、この項目の改善が図られてくると考えていたものの結果はそれほどではなかったと押さえます。

◎一斉同報メールの速報性、学校便りの広報性のそれぞれの利点を生かす等、より効果的な情報発信に努めてまいります。また、情報発信については、的確な方法・内容・タイミングが重要と捉えてよりよいものにしてまいります。

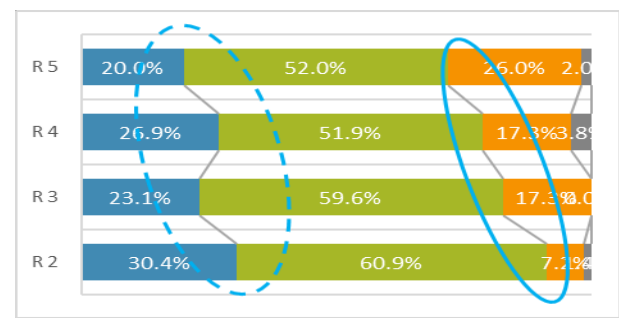
分析〈10〉家庭学習習慣の定着に関する質問

対 象	質問No.	質 問 文
児童	4	家で勉強していますか
保護者	3	家庭では、お子さんは家庭学習の習慣がありますか

【児童の経年変化】



【保護者の経年変化】



○家庭学習の習慣化について減少傾向が進んでいます。

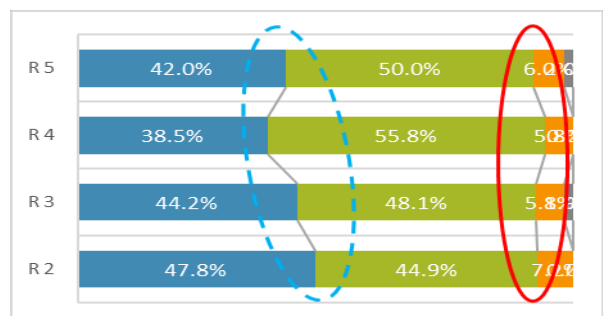
◎何をどのようにどのくらい取り組むのかの方法や、必要に応じて自学自習の主体的な取組を進める姿勢について、これまでの取組に対して見直しの時期に入っていると捉え、ICT機器の活用を含めた策を検討してまいります。

分析〈11〉経営の重点（重点3）「安全意識の向上と健康な体づくり」に関する質問

対 象	質問No.	質 問 文
保護者	10	北村小は、子どもたちの事故防止、安全確保（コロナ含む）に努めていると思いますか



【保護者の経年変化】



○保護者の上位評価が92.0%で、本アンケートの項目中で2番目に高い割合となっています。本校の対応について一定の成果が認められていると考えられます。

◎より高い安心感を得るために、危険を回避する予防の観点を中心にしつつ、危機管理マニュアルの充実を図って迅速的確な対応が図れるようにしてまいります。また、この分野でのPTAや学校運営協議会との連携強化を検討してまいります。